シャワープレイス（スタンドタイプ）

取付・取扱説明書

このたびは、日本興業のシャワープレイス　スタンドタイプをお買い上げいただきありがとうございました。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

施工の前に

- 設置場所の確認
  - ・施工場所に寸法的に正しく収まるかどうか確認してください。
  - ・母屋の屋根から雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- 梱包明細書に記載の部材、部品がすべて揃っているか確認してください。
- 製品の施工は、必ずこの「取付・取扱説明書」にしたがってください。
- この「取付・取扱説明書」は、施工終了後お客様にお渡しください。

施工上のご注意

- 運搬、施工時は製品をぶつけないようにしてください。
- 製品を横に倒して長時間、地面等に放置しないでください。
- 製品の改造はおこなわないでください。
- 基礎部の寸法は、指定以上の寸法としてください。現場の状況に応じて、基礎部のコンクリートの体積を考慮してください。
- 塩分を含む砂、塩素系のモルタル混和材は腐食の原因になるため使用しないでください。
- 施工時に製品に付着したモルタルやコンクリート等は、表面に傷をつけないように速やかに清掃してください。
- 施工終了後は、ネジ類の締まり具合をもう一度確かめてください。
- 配管の抜けや破損を防ぐため、設置する場所は平坦な場所としてください。
- 収納部にある給排管を通す穴は、本体設置後モルタルなどで埋めてください。
- 施工の手順でコーキング指示のある所には、シリコン系充填材でコーキングをおこなってください。

使用上のご注意

■警告及び注意表示

⚠	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

⃠	禁止	この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないでください。
❗	厳守	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施してください。
⚠	注意	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取り扱いに注意してください。

⚠警告

⃠ 禁止	● 本来の用途以外では使用しないでください。 ● 天板の上に人が乗らないでください。 ● 扉にぶら下がったり、収納部に入るなど、製品で遊ばないでください。

⚠注意

⃠ 禁止	● 製品の改造をおこなわないでください。 ● 収納スペースより大きいものを無理に押し込まないでください。 ● 施工後、製品が動くような強い衝撃を与えないでください。 ● 収納物を出し入れする際に排水管や給水管にぶつけないでください。 ● 汚れやカビの原因となるので、水（雨水や食器洗い後の汚水等）をためたまま長時間放置しないでください。 ● 雨水が入りにくい仕様になっていますが、完全防水ではないので、濡れると困る物は収納しないでください。
❗ 厳守	● 製品は寒冷地用ではありません。凍結が予想される夜間または長期間使用しない時には配管内、水栓内の水抜きをおこなうなどの凍結防止対策をおこなってください。 ● 当社別売品の蛇口は寒冷地用ではありません。凍結が予想される地域では、寒冷地用の水栓を別途お買い求めください。

❗ 厳守	● 製品の破損を避けるため、扉の開閉はゆっくりとおこなってください。 ● 底面に水ぬき穴があります。周囲から水が入ってくる場合は、必要に応じて水ぬき穴をふさいでください。 ● 使用後は、たわしなどで軽くこすり、汚れを水で洗い流してください。
⚠ 注意	● 扉の開け閉めの際、手などをはさまないようご注意ください。 ● 夏場炎天下では天板や扉が高温になる事があります。 ● 研磨剤の入った洗剤や、金属製ブラシ、スチールウールなどで磨くと表面にキズがつく場合があります。

梱包明細書

本体梱包品

名称	数量	仕様
シャワープレイス　スタンドタイプ　本体	1	本体：繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装
		扉：グラスファイバー補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装
		防水コンセント組み付け済
シャワープレイス　スタンドタイプ　天板	1	繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装
CD管	2m	ー
サドル	2	ー
Pレスアンカー	2	4×25
取付金具	2	青銅製
リードフック	1	M8
排水部品　バスケット付排水金具	1	SUS304等
排水部品　塩ビ部品	1	VU継手75×40・VU40・排水用ソケット　呼び径40　接着品
排水部品　流し台ホース	1	軟質塩化ビニール製
排水部品　防臭エンド	1	エラストマー製　VP・VU50用
防水コンセント	1	
取付・取扱説明書	1	A3：2頁

別売品

名称	数量	仕様
シャワー付水栓	1	2ハンドルシャワー混合栓
タオルハンガー	1	ロートアイアン製
スツール	1	本体：繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装
	1	座板：繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装
スクエアパン	1	繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装

※別売品はすべて、設置現場での取り付けとなります。

現場調達品

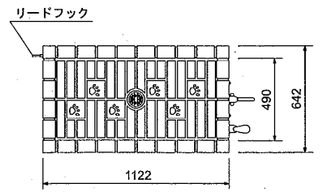
名称		数量	仕様
給水管	HIVP管	ー	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP13）
	バルブソケット	1	インサート付、水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP13）
	エルボ	2	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP13）
	保温筒	1	一般水道配管用
給湯管	HT管	ー	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HTVP13）
	バルブソケット	1	インサート付、水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HTVP13）
	エルボ	2	水道用硬質塩化ビニル管（HTVP13）
	保温筒	1	給湯用
排水管		ー	VU50またはVP50（水道用硬質塩化ビニル管）
コーキング剤		少量	シリコン系充填剤

※施工に必要な工具（コンクリートドリルφ4.3、スパナ）などは別途ご用意ください。

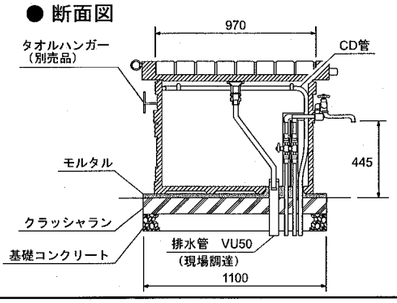
施工の手順

1 据えつけ図

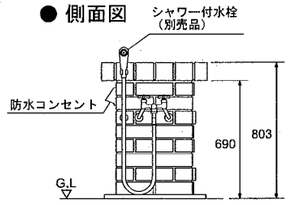
● 平面図



● 断面図



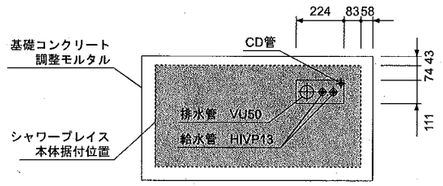
● 側面図



施工の手順（つづき）

2 基礎工事

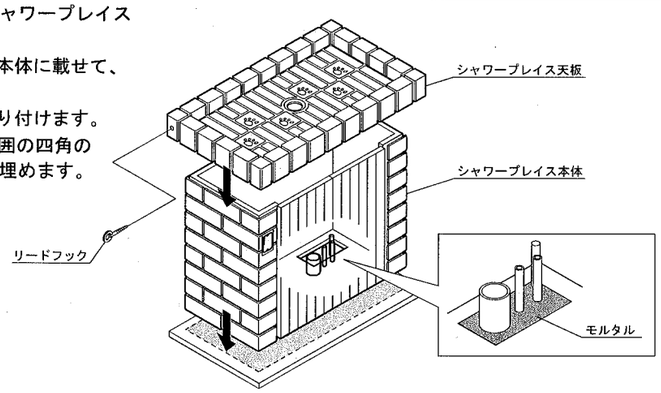
① 所定に寸法で床掘りをおこないます。
② 施工図を参考に、給水管と排水管とCD管の立ち上がり位置を確認してください。
③ クラッシャランを敷き転圧をおこないます。
④ 基礎コンクリートを打設します。
⑤ 基礎コンクリートの養生後、調整モルタルで製品設置面のレベルをだします。



基礎部分施工図

3 本体の設置

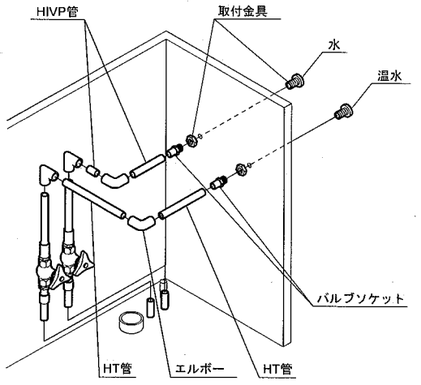
① 飛び出ている給水管と排水管に注意してシャワーブレイス本体を据えつけます。
② シャワーブレイス天板をシャワーブレイス本体に載せて、がたつきの無いことを確認します。
③ シャワーブレイス天板にリードフックを取り付けます。
④ シャワーブレイス本体の内側にある配管周囲の四角の穴をモルタルで床面と同じ高さになるよう埋めます。



4 配管の接続

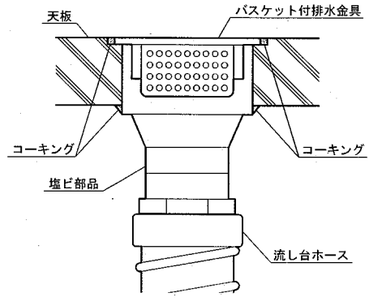
● 給水管の接続

① 給水管（水、温水）を取付金具、バルブソケット、エルボで接続します。
② 給水管（水、温水）に保温筒を巻きます。

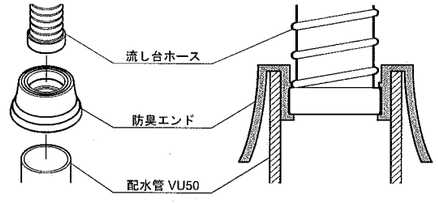


● 排水管の接続

① 天板の排水口に塩ビ部品を取り付けます。
② バスケット付排水金具を取り付けます。
③ シリコン系充填材で天板の上下隙間をコーキングします。
④ 流し台ホースを塩ビ部品にねじ込みます。

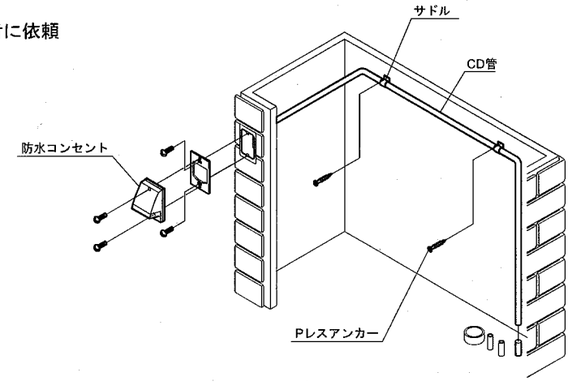


⑤ 流し台ホースの排水側を防臭エンドに差し込みます。
⑥ 防臭エンドを排水管（VU50）にかぶせて固定します。



5 電気配管の接続

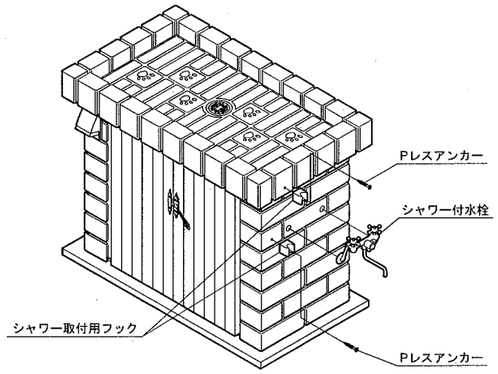
① 配線工事を行います。
⚠ 配線・結線工事は、必ず電気工事の有資格者に依頼してください。



6 別売品の取り付け

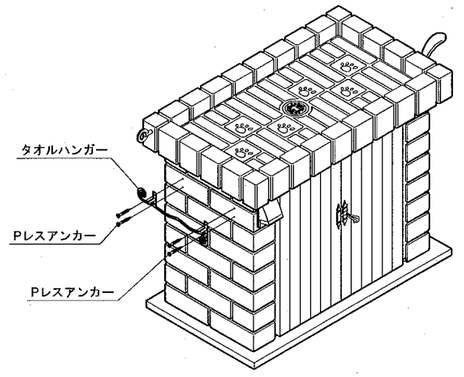
● シャワー付水栓の取り付け

シャワー付水栓およびシャワー取付用フックを本体に取り付けます。
フックの取り付けは、コンクリートドリル（φ4.3）で下穴をあけたあと、Pレスアンカーにて固定してください。



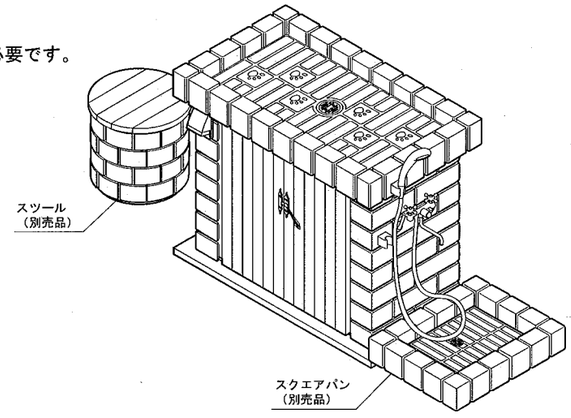
● タオルハンガーの取り付け

タオルハンガーを本体に取り付けます。
タオルハンガーの取り付けは、コンクリートドリル（φ4.3）で下穴をあけたあと、Pレスアンカーにて固定してください。



● スツール・スクエアパンの設置

図のようにスツールとスクエアパンを配置します。
⚠ スクエアパンには、別途排水管引き込み工事が必要です。



● 製品の仕様、内容等につきましては、品質改良の為、予告なしに変更する場合があります。

日本興業株式会社

05.08